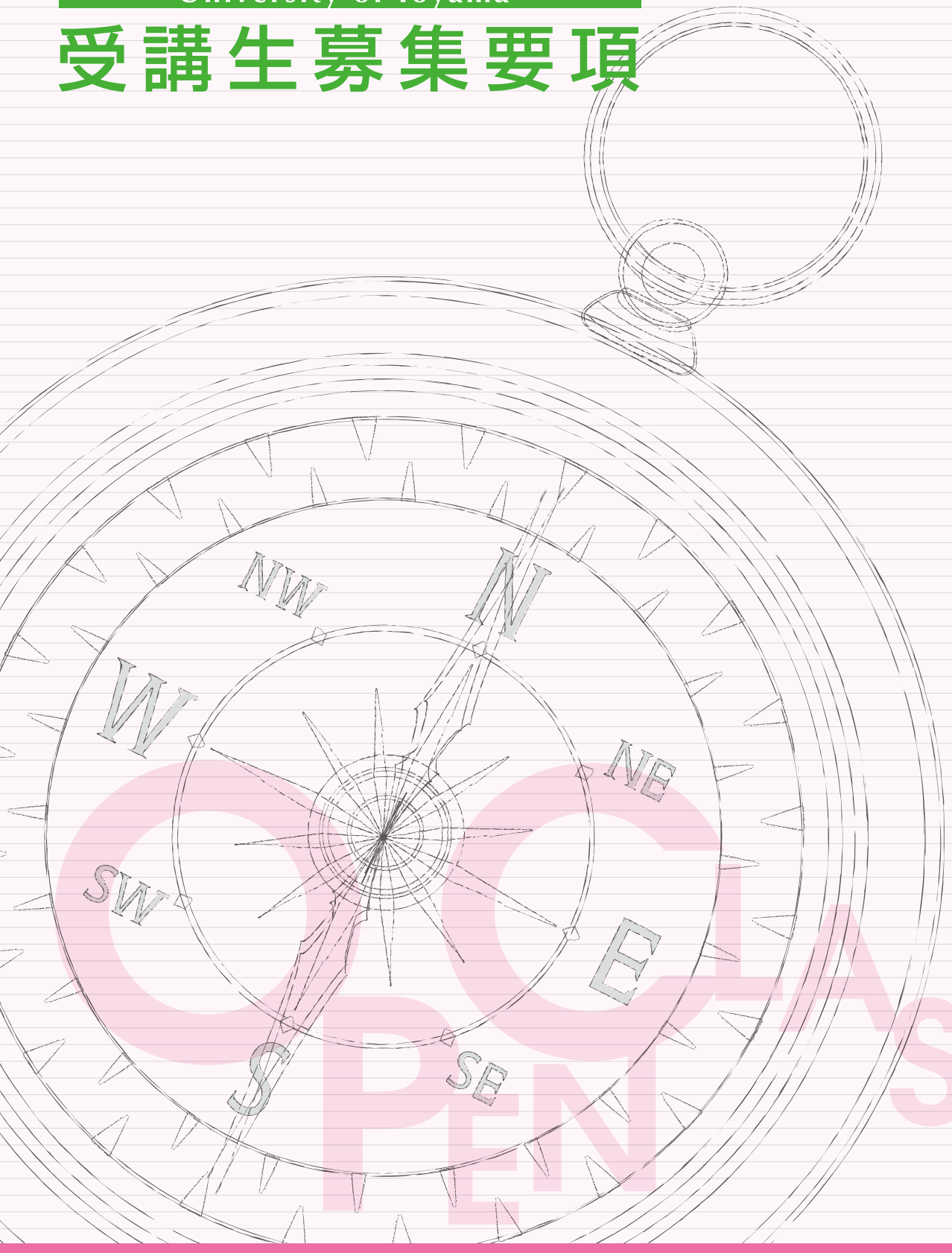
平成25年度 前学期

富山大学 オープン・クラス

University of Toyama

受講生募集要項

富大生と一緒に学べます！





富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門

平成 25 年度前学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス	高岡キャンパス	杉谷キャンパス
授　　業	4月8日(月)～7月26日(金) ※7月25日(木)を除く		4月8日(月)～7月26日(金) ※7月25日(木)を除く (医学科3・4年次のみ4月2日(火)から)
補講・試験	7月25日(木)、 7月29日(月)～8月2日(金)		7月25日(木)、 7月29日(月)～8月2日(金)、 9月2日(月)～9月30日(月)
備　　考	＊5月1日(水)は月曜日の授業を行います。 ＊7月16日(火)は月曜日の授業を行います。		＊7月16日(火)は月曜日の授業を行います。 ＊7月24日(水)は月曜日の授業を行います。

授　業　時　間

時限	1　限	2　限	3　限	4　限	5　限	夜1限 （6限）	夜2限 （7限）
時間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく市民一般の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、各学部及び教養教育(注1)（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めようとするものです。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

なお、「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生(注2)として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

（注1）本学の教養教育は、全教員で担当するという、いわゆる「全学出動方式」により実施されています。
（注2）「オープン・クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門

目　　次

富山大学のオープン・クラスについて

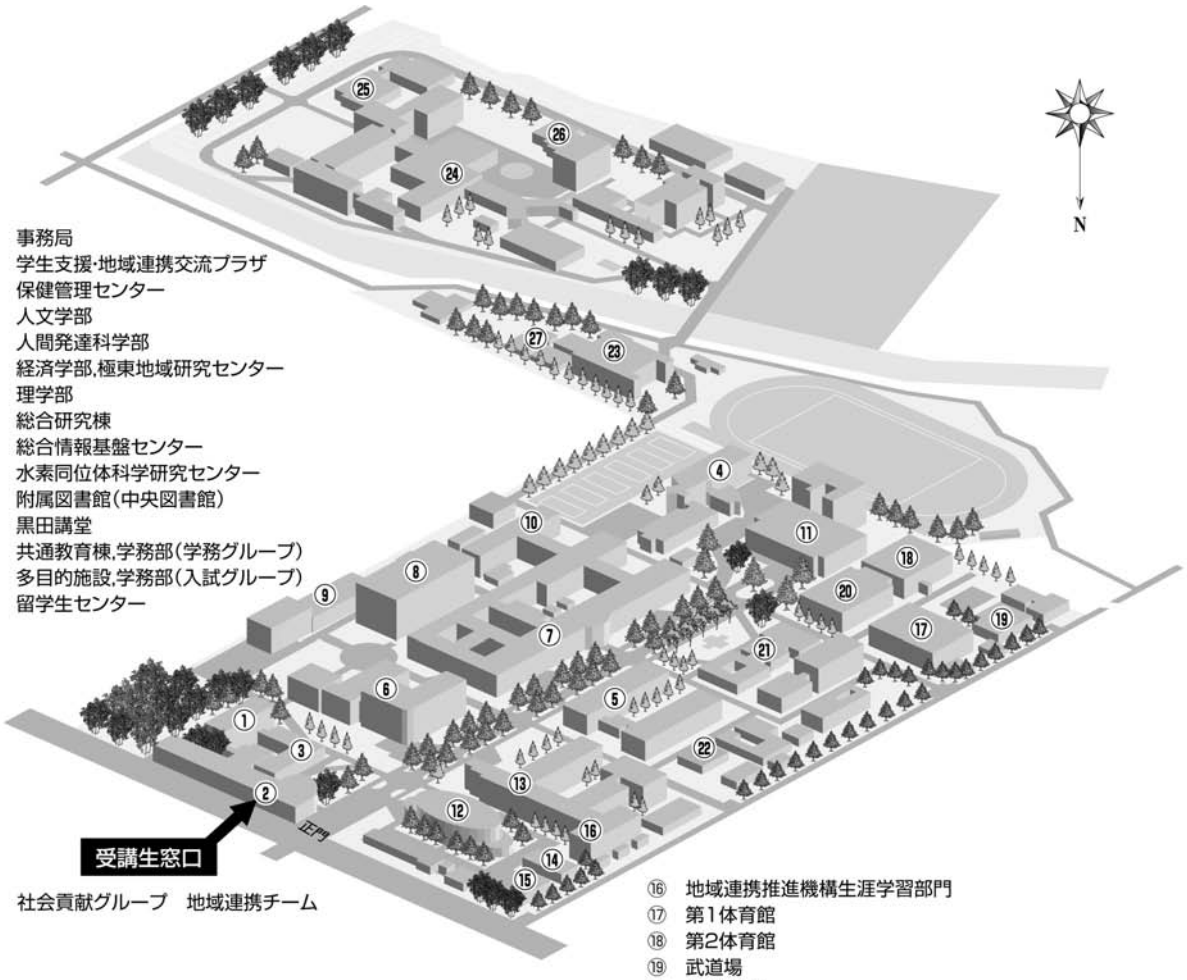
五福キャンパス
Ⅰ　実施形態…… 4
Ⅱ　受講手続…… 5
Ⅲ　受講に際して…… 6
Ⅳ　その他…… 7
オープン・クラス授業科目一覧
◯教養教育…… 9
◯専門科目
・人文学部……11
・人間発達科学部……14
・経済学部、大学院経済学研究科……16
・理学部……17
・工学部……20

高岡キャンパス
Ⅰ　実施形態……24
Ⅱ　受講手続……25
Ⅲ　受講に際して……26
Ⅳ　その他……27
オープン・クラス授業科目一覧
・芸術文化学部……28

杉谷キャンパス
Ⅰ　実施形態……32
Ⅱ　受講手続……33
Ⅲ　受講に際して……34
Ⅳ　その他……35
オープン・クラス授業科目一覧
◯教養教育……36
◯専門科目
・医学部……36

受講希望調書　……37

五福キャンパス



① 事務局
② 学生支援･地域連携交流プラザ
③ 保健管理センター
④ 人文学部
⑤ 人間発達科学部
⑥ 経済学部,極東地域研究センター
⑦ 理学部
⑧ 総合研究棟
⑨ 総合情報基盤センター
⑩ 水素同位体科学研究センター
⑪ 附属図書館(中央図書館)
⑫ 黒田講堂
⑬ 共通教育棟,学務部(学務グループ)
⑭ 多目的施設,学務部(入試グループ)
⑮ 留学生センター

社会貢献グループ　地域連携チーム

⑯ 地域連携推進機構生涯学習部門
⑰ 第1体育館
⑱ 第2体育館
⑲ 武道場
⑳ 大学食堂
㉑ 学生会館,学務部(学生支援グループ,就職支援グループ)
㉒ 人間発達科学研究実践センター
㉓ 第3体育館
㉔ 工学部
㉕ 地域連携推進機構産学連携部門
㉖ 第2大学食堂
㉗ 学生支援施設

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（Ｐ９～Ｐ 22 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

Ａ　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

Ｂ　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

Ｃ　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

Ｄ　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　**開講期間は、平成 25 年４月８日（月）～ ７月 26 日（金）（７月 25 日（木）を除く）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 25 年度前学期授業日程」でご確認ください。

なお、授業時間は、次のとおりです。

時限	１　限	２　限	３　限	４　限	５　限	夜１限（６限）	夜２限（７限）
時間	８：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

（試聴授業）

4　初回の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書等）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。ただし、授業を所定回数受講された方には、修了証書を発行します。詳細は受講生窓口にお問い合わせください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項に添付してある「受講希望調書」を**３月15日（金）から４月１日（月）まで**に五福キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴期間）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、以下のように「試聴期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

試聴期間：平成25年４月８日（月）～ 平成25年４月12日（金）

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届

・受講料

・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

五福キャンパス受講生窓口は、次のとおりです。

富山大学社会貢献グループ地域連携チーム
〒930-8555　富山市五福3190
ＴＥＬ　076－445－6956　ＦＡＸ　076－445－6033
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。

受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円

（消費税込みです。**授業科目によっては受講料が 9,300 円以外の科目があります。**

その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。

また、複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。既に受講証の交付を受けている場合には、手続きの際に受講証をご提示ください。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、本学ホームページの「Web 掲示情報」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/information/）に教室変更、休講、補講などについての情報が掲載されています。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）

その他、携帯電話からも授業の掲示情報を確認できるようになりました。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　受講生は、図書館の利用ができます。利用の際には、受講証をご提示ください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　科目によっては当該保険に必ず加入していただく科目がありますのでご注意願います。
加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に、施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

（総合案内先、問い合わせ先）

1　「オープン・クラス」に関するお問い合わせは、下記五福キャンパス受講生窓口までお願いします。

富山大学社会貢献グループ　地域連携チーム
〒930-8555　富山市五福 3190
TEL　076 － 445 － 6956　FAX　076 － 445 － 6033
ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/
E メール　lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp
通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受付けています。
（祝日を除く）

2　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページ　から「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）
　また、五福キャンパス受講生窓口においても自由にご覧いただくことができます。

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

○教養教育	
学務グループ教養教育チーム	TEL 076-445-6031
○人文学部	
人文系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6138
○人間発達科学部	
人間発達系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6258
○経済学部	
経済系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6517
○理学部	
理学系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6546
○工学部	
工学系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6698

3　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

4　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

＊教室については、試聴日に、学務部（教養教育）の掲示板で、あるいは受講生窓口（地域連携チーム）にて、必ずご確認ください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	募集定員	難易度	備　考
1	音楽	大　谷　多賀子	月・2	5	A	
2	はじめての経済学	垣　田　直　樹	月・2	3	A	
3	物理の世界	前　澤　宏　一	月・2	5	A	
4	技術の世界	平　澤　良　男	月・2	5	A	
5	哲学のすすめ	永　井　龍　男	月・5	5	A	
6	西洋の歴史と社会	漆　間　真由美	月・5	5	A	
7	外国文学	吉　田　　泉	月・5	5	A	
8	はじめての経済学	唐　渡　広　志	月・5	3	A	
9	生活の科学	中　嶋　芳　雄	月・5	5	A	
10	東洋の歴史と社会	渋　谷　由　里	火・1	5	A	ただし初回テストの結果、およびその後の受講態度によっては受講をお断りすることもあります。
11	日本文学	奥　野　美友紀	火・1	5	A	
12	美術	隅　　敦	火・1	5	A	
13	市民生活と法	立　石　孝　夫	火・1	10	A	
14	生命の世界	石　井　　博	火・1	教室収容人数の範囲で可	A	
15	人間と倫理	田　畑　真　美	火・2	3	A	
16	日本文学	二　村　文　人	火・2	5	A	
17	日本の歴史と社会	熊　谷　隆　之	火・2	制限なし	A	
18	経済生活と法	伊　藤　嘉　規	火・2	5	A	
19	コロキアム（競馬学）	立　川　健　治	火・5	5	A	
20	コロキアム（世界の映画）	末　岡　　宏	火・5	20	A	
21	生命の世界	田　端　俊　英	木・1	10	A	
22	化学物質の世界	鈴　木　　炎	木・1	5	A	
23	市民生活と法	福　井　　修	月・1	10	A	
24	自然と情報の数理	菊　池　万　里	月・1	5	A	
25	ロシア語B (3)	青　木　恭　子	月・2	制限なし	B	
26	ラテン語B (3)	松　崎　一　平	月・2	制限なし	A	
27	言語と文化	樋　野　幸　男	火・1	5	A	

学部等名：教養教育

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	募集定員	難易度	備　考
28	哲学のすすめ	池　田　真　治	火・2	5	A	
29	経営資源のとらえ方	鈴　木　基　史	火・2	5	A	
30	美術	鼓　　みどり	火・2	5	A	
31	ドイツ語B (3)	ウォルフガング　ツォウベク	水・4	3	B	
32	西洋の歴史と社会	徳　橋　　曜	木・2	5	A	
33	言語と文化	安　藤　智　子	木・2	5	A	
34	国家と市民	秋　葉　悦　子	木・2	10	A	
35	産業と経済を学ぶ	金　　奉　吉	木・2	5	A	
36	地域の経済と社会・文化	鈴　木　晃志郎	木・2	制限なし	A	
37	化学物質の世界	宮　崎　　章	木・2	10 人程度	A	シラバスに記載してある一般教育目標を理解した上で履修をご検討ください。
38	英語B (3)	湯　川　純　幸	木・4	制限なし	B	
39	日本国憲法	伊　藤　嘉　規	金・1	5	A	
40	地球と環境	竹　内　　章	金・1	若干名	A	
41	技術の世界	三　原　　毅	金・1	5	A	
42	中国語B (3)	応　　広　建	金・4	5	B	
43	フランス語B (3)	近　藤　壽　良	金・4	10	B	
44	技術と社会	米　山　嘉　治	月・3	10	A	
45	技術と社会	高　瀬　　均	月・3	10	A	
46	環日本海	長谷部　宏　一	月・3	5	A	
47	人権と福祉	立　川　健　治	水・2	10	A	
48	総合科目特殊講義「万葉学」	坂　本　信　幸	水・2	10	A	
49	環境	小　倉　利　丸	金・6	若干名	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	哲学概論	永　井　龍　男	月・2	人文1	5	B	
2	西洋思想史	永　井　龍　男	火・3	人文1	5	B	
3	西洋古典語	永　井　龍　男	木・5	人文601	3	B	
4	哲学演習	永　井　龍　男	金・4	人文601	3	B	
5	西洋思想史	池　田　真　治	金・3	人文2	若干名	B	
6	哲学演習	池　田　真　治	火・4	人文601	若干名	B	
7	東洋思想史	田　畑　真　美 末　岡　　宏 鈴　木　信　昭	木・3	人文6	5	B	国際文化特殊講義と同時開講。
8	国際文化特殊講義	田　畑　真　美 末　岡　　宏 鈴　木　信　昭	木・3	人文6	5	B	東洋思想史と同時開講。
9	人間学演習Ⅰ	田　畑　真　美	木・4	人文601	3	C	
10	倫理思想	松　﨑　一　平 田　畑　真　美 澤　田　哲　生	金・2	人文2	5	B	
11	言語学講読（N）	湯　川　純　幸	火・4	人文701	5	B	英語で書かれた語用論(pragmatics)の入門用教科書を読みます。
12	言語学特殊講義D	樋　野　幸　男	木・4	人文2	5	B	
13	言語学概論Ⅱ	安　藤　智　子	月・3	人文2	5	B	
14	心理学概論Ⅱ	喜　田　裕　子 黒　川　光　流 坪　見　博　之	金・2	人文4	5	A	
15	心理学特殊講義	黒　川　光　流	火・4	人文4	5	B	
16	日本史特殊講義	鈴　木　景　二	月・3	人文3	5	B	
17	日本史概説Ⅱ	熊　谷　隆　之	金・2	人文6	5	B	
18	古文書学実習	熊　谷　隆　之	木・5	人文3	5	B	初めて受講される方向けです。
19	西洋史講読	漆　間　真由美	火・4	人文604	3	C	
20	考古学概論	髙　橋　浩　二	火・4	人文1	5	B	
21	人文地理学実習1	鈴　木　晃志郎	木・3	人文402 人文CL	4	B	パソコン使用
22	人文地理学特殊講義	鈴　木　晃志郎	火・4	人文5	教室に収容可能範囲内	B	
23	比較文化講読	金　子　幸　代	火・3	人文419	若干名	B	
24	比較文化演習	金　子　幸　代	木・4	人文419	若干名	B	
25	日本文化講読	立　川　健　治	火・4	人文502	3	B	
26	日本文化特殊講義	立　川　健　治	木・5	人文6	3	B	

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
27	外国語演習（ロシア語）	吉田俊則 青木恭子	火・3	人文502	3	B	
28	外国語演習（中国語）	末岡　宏	月・3	人文LL	5	B	
29	中国文化演習	末岡　宏	火・2	人文502	5	B	
30	日本文学特殊講義	二村文人	木・5	人文4	5	B	
31	朝鮮語コミュニケーション（会話）	宋　有宰	火・1	人文211	5	B	
32	朝鮮語コミュニケーション（会話）	宋　有宰	火・2	人文211	5	B	
33	中国言語文化演習	磯部祐子 森賀一恵 夏　嵐 大野圭介	火・2	人文417	5	B	
34	中国言語文化演習	大野圭介	金・3	人文417	3	B	現代中国語を習得していることを前提として授業を行います。
35	中国語コミュニケーション（会話）	夏　嵐	木・3	人文417	3	B	
36	中国語コミュニケーション（作文）	夏　嵐	月・4	人文417	2	B	
37	英米言語文化特殊講義	大工原　ちなみ	火・1	人文1	3名程度	B	
38	英米言語文化演習Ⅱ	大工原　ちなみ	火・2	人文1	3名程度	C	
39	英米言語文化講読Ⅰ	恒川正巳	月・4	人文1	3	B	
40	英米言語文化講読Ⅱ	恒川正巳	月・5	人文1	3	C	
41	ドイツ文学史	別本明夫	木・3	人文416	3	B	
42	ドイツ言語文化演習Ⅱ	別本明夫	月・4	人文416	3	C	
43	ドイツ言語文化講読Ⅱ	別本明夫	木・5	人文416	3	C	
44	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（1）	ヴォルフガング　ツォウベク	火・2	人文416	2	B	
45	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（1）	ヴォルフガング　ツォウベク	火・3	人文416	2	C	
46	ドイツ語コミュニケーション（作文）中級	ヴォルフガング　ツォウベク	水・2	人文416	2	C	
47	ドイツ語コミュニケーション（作文）初級	ヴォルフガング　ツォウベク	水・3	人文416	2	B	
48	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（2）	ヴォルフガング　ツォウベク	金・2	人文416	2	C	
49	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（2）	ヴォルフガング　ツォウベク	金・3	人文416	2	B	
50	フランス言語文化特殊講義	中島淑恵	月・2	人文6	10	B	
51	ロシア語概論	中澤敦夫	月・4	人文316	5	B	
52	ロシア言語文化購読Ⅰ	中澤敦夫	木・2	人文316	5	B	
53	ロシア言語文化演習Ⅱ	中澤敦夫	木・3	人文316	5	C	
54	ロシア文学史	中澤敦夫	火・5	人文316	5	B	

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
55	実践ロシア語演習Ⅰ	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ　ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	水・3	人文316	5	B	
56	実践ロシア語演習Ⅱ	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ　ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	水・2	人文316	5	C	
57	実践ロシア語演習Ⅲ	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ　ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	金・2	人文316	5	C	
58	ロシア言語文化特殊講義	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ　ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	水・4	人文316	5	C	
59	ロシア文化論	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ　ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	金・4	人文316	5	C	
60	生涯学習概論	藤　田　公仁子	火・2	共通D11	10	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	児童心理学	姜　信善	月・3	人間 142	3	B	
2	カウンセリング	石津　憲一郎	月・2	人間実践センター	3	B	(注1)
3	社会心理学	佐藤　徳	木・4	人間 142	3	B	
4	心理統計学	小川　亮	金・2	人間端末室	3	B	パソコン使用
5	精神保健	下田芳幸	水・2	人間実践センター	3	A	
6	健康心理学	下田芳幸	火・2	人間実践センター	3	B	
7	性格心理学	村上宣寛	火・4	人間 114	3	B	
8	教育哲学	野平慎二	月・4	人間 141	3	B	
9	教育社会学	久保田真功	金・3	人間 141	5	B	
10	公的扶助論	志賀文哉	月・4	人間 113	10	B	
11	司法福祉論	小林　真	火・2	人間 114	3	B	
12	心理学	小林　真	火・3	人間 112	3	B	
13	知的障害児の教育Ⅱ	阿部美穂子	水・1	人間各演習室	5	B	
14	保育内容（言葉）	若山育代	水・2	人間 112	3	A	
15	児童福祉論	西館有沙	木・3	人間 113	5	B	
16	社会福祉概論Ⅱ	志賀文哉	木・5	人間 114	10	B	
17	保育内容（人間関係）	小林　真	金・2	人間 111	5	A	
18	臨床発達心理学	小林　真	金・5	人間 211	3	B	
19	地域スポーツ概論	布村　忠弘 他	水・1	共通 C11	5	B	
20	スポーツ文化論	大川信行	月・2	人間 112	5	B	
21	救急法	布村忠弘	火・2	理 A425	5	B	
22	バイオメカニクス	堀田朋基	火・5	人間 111	5	B	
23	メンタルマネジメント	福島洋樹	木・2	人間 112	5	B	
24	身体コミュニケーション	布村忠弘	木・3	人間 112	5	B	
25	スポーツ医学	布村忠弘	木・5	人間 112	5	B	
26	都市減災論	椚座圭太郎	火・4	人間 141	5	A	
27	自然環境地理学	田上善夫	月・1	人間 221	3	C	
28	比較地域論	山根　拓	月・3	人間 211	5	B	
29	熱とエントロピー	成行泰裕	月・3	人間 221	3	A	
30	全地球史	椚座圭太郎	月・4	人間 112	5	A	

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
31	地理情報学	田上善夫	月・4	人間 221	3	A	
32	ヒトの動きの力学的解析	鳥海清司	火・1	人間各演習室	3	B	
33	世界環境地理学	山根拓	火・2	人間 142	5	B	
34	物性化学概論	片岡弘	火・3	人間各演習室	5	A	
35	衣環境論	孫珠熙	火・3	人間 221	3	A	
36	睡眠学	神川康子	火・3	人間 113	5	B	
37	地球市民社会論	佐藤幸男	火・4	共通 A32	3	B	
38	地域経済史	根岸秀行	火・4	共通 A41	3	B	
39	住環境論	秋月有紀	水・2	人間 211	3	B	
40	栄養学	藤本孝子	木・1	人間 211	3	B	
41	国際政治学	佐藤幸男	木・2	共通 A32	3	B	
42	家族関係学	神川康子	木・3	人間 211	3	A	
43	人間社会の地理学	山根拓	木・5	人間 211	5	B	
44	科学ジャーナリズム論	林衛	金・3	人間各演習室	3	B	
45	世界システム概論	徳橋曜	金・4	人間 112	5	A	
46	筋機能向上プログラミング	鳥海清司	金・5	人間 115	3	B	
47	電脳社会論	黒田卓	火・1	共通 C22	3	B	
48	応用数学	山口範和	月・3	人間 116	3	C	
49	情報通信ネットワーク管理	高橋純	木・3	人間 114	3	A	
50	数理解析	山口範和	火・3	人間 141	3	B	
51	コンテンツデザイン概論	上山輝	水・2	人間 142	3	B	
52	メディア史	鼓みどり	木・2	総合情報基盤センター 2F	3	A	パソコン使用
53	情報数学	大森克史	木・4	人間 221	3	B	
54	ヒューマンインターフェース概論	山西潤一	金・3	人間 113	3	B	パソコン使用
55	情報コミュニケーション学特別講義	山西潤一	金・2	人間 113	3	B	パソコン使用

（注 1）ただし、現在もしくは過去にカウンセリングや精神科治療を受けた方は担当教員と相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：経済学部

＊教室については、試聴日に、経済学部の掲示板で、あるいは受講生窓口（地域連携チーム）にて、必ずご確認ください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	募集定員	難易度	備　考
1	ミクロ経済学Ⅰ	堂　谷　昌　孝	月・1 木・3	10	B	13,300円
2	中国経済論	今　村　弘　子	月・1 木・3	5	B	13,300円
3	保険海商法	志津田　一　彦	月・1 木・3	5	B	13,300円 パソコン使用
4	日本産業論	松　井　隆　幸	月・2 木・2	5	B	13,300円
5	経営経済の基礎数学Ⅰ	平　井　俊　行	月・4	5	A	
6	経済学特殊講義「ロシア経済論」	堀　江　典　生	月・4 木・4	若干名	B	13,300円
7	経済法	中　出　孝　典	月・4 木・4	3	B	13,300円
8	経営学入門	水谷内　徹　也	火・2	5	A	
9	日本経済史	青　地　正　史	火・3 金・1	5	A-B	13,300円
10	比較経営論	森　岡　　裕	火・3 金・1	10	B	13,300円
11	農業政策	酒　井　富　夫	火・4 木・1	10	B	13,300円
12	社会学総論	中　村　真由美 高　山　龍太郎	火・4 木・1	10	B	13,300円
13	経営経済の基礎数学Ⅰ	横　山　一　憲	火・5	3	A	
14	現代経済入門	青　地　正　史	水・1	5	A	
15	現代経済入門	大　西　吉　之	水・1	5	A	
16	憲法Ⅰ（人権）	栗　田　佳　泰	水・1 金・3	10	B	13,300円

○大学院

学部等名：大学院経済学研究科

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	募集定員	難易度	備　考
1	転換期における企業価値創造	鈴　木　基　史	土曜日に開講予定の北陸銀行との連携講座です。詳細が決まり次第、別途パンフレット、HP にてお知らせします。			

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	解析学Ⅰ	数学科	池　田　榮　雄	水・1	理 A238	若干名	C	(注 1)
2	線形代数学Ⅰ	数学科	木　村　　巖	月・1	理 A238	若干名	C	(注 1)
3	線形代数学Ａ	数学科	川　部　達　哉	火・5	理 A238	若干名	C	(注 1)
4	解析学Ⅳ	数学科	濱　名　正　道	月・2	理 A238	若干名	C	(注 1)
5	集合論	数学科	永　井　節　夫	水・2	理 A424	若干名	C	(注 1)
6	微分積分学Ａ	数学科	久　保　文　夫	木・2	理 A238	若干名	C	(注 1)
7	プログラミングⅠ	数学科	幸　山　直　人	水・3	理 A337	若干名	C	(注 1)
8	解析学Ⅲ	数学科	出　口　英　生	木・4	理 A238	若干名	C	(注 1)
9	線形代数学Ⅲ	数学科	浅　沼　照　雄	金・4	理 A238	若干名	C	(注 1)
10	情報科学	数学科	上　田　肇　一	月・2	理 A135	若干名	C	(注 1) パソコン使用
11	幾何学Ⅰ	数学科	古　田　高　士	火・3	理 A337	若干名	C	(注 1)
12	複素解析学Ⅱ	数学科	阿　部　幸　隆	金・3	理 A238	若干名	C	(注 1)
13	微分方程式序論	数学科	藤　田　安　啓	木・3	理 A337	若干名	C	(注 1)
14	微分積分学Ⅰ	数学科	浅　沼　照　雄	水・1	未定	若干名	C	(注 1)
15	線形代数学	数学科	久　保　文　夫	金・1	未定	若干名	C	(注 1)
16	物理学序説Ⅰ	物理学科	水　島　俊　雄	木・4	未定	5	A	
17	物理学概論Ⅰ	物理学科	池　本　弘　之	木・4	理 A243	5	A	パソコン使用
18	物理数学序論	物理学科	桑　井　智　彦	木・2	理 A239	5	A	
19	電磁気学序論	物理学科	榎　本　勝　成	月・2	理 A337	若干名	B	
20	物理数学Ｂ	物理学科	栗　本　　猛	木・4	理 A337	5	C	
21	力学Ⅰ	物理学科	桑　井　智　彦	水・2 金・2	理 A337	2	B	13,300 円
22	物理実験学Ａ	物理学科	森　脇　喜　紀	金・3	理 A337	5	B	パソコン使用
23	電磁気学Ⅱ	物理学科	松　島　房　和	水・1	理 A337	5	B	
24	量子力学Ⅰ	物理学科	栗　本　　猛	月・3 月・4	理 A337	5	C	13,300 円
25	光学	物理学科	森　脇　喜　紀	金・2	理 A425	5	B	パソコン使用
26	物理実験学Ｂ	物理学科	松　島　房　和	金・3	理 A425	5	B	
27	物性物理学Ｂ	物理学科	石　川　義　和	水・2	理 C202	5	C	
28	核・素粒子物理学Ｂ	物理学科	栗　本　　猛	火・2	理 C204	5	C	
29	化学概論Ⅰ	化学科	大　澤　　力	金・4	未定	若干名	A	
30	化学概論Ⅰ	化学科	鈴　木　　炎	金・4	理 A424	5	A	

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
31	基礎物理化学	化学科	柘　植　清　志	月・1	理 A424	5	A	
32	基礎有機化学	化学科	樋　口　弘　行	火・5	理 A424	5	A	
33	化学熱力学Ⅱ	化学科	鈴　木　　炎	月・2	理 A336	5	B	
34	量子化学Ⅱ	化学科	野　崎　浩　一	水・1	理 C104	5	B	
35	有機化学Ⅱ	化学科	宮　澤　眞　宏	水・2 金・2	理 A336	5	B	前期・前半
36	有機化学Ⅲ	化学科	平　井　美　朗	水・2 金・2	理 A336	5	B	前期・後半
37	触媒化学	化学科	大　澤　　力	火・1	理 A238	若干名	B	
38	分子物性学	化学科	野　崎　浩　一	木・2	理 C105	5	B	
39	電気化学	化学科	阿　部　孝　之	水・2	理 C204	若干名	B	
40	生体物質化学	化学科	平　井　美　朗	月・2	理 A425	若干名	B	
41	高分子化学	化学科	吉　野　惇　郎	金・2	理 C202	若干名	B	
42	無機化学Ⅱ	化学科	柘　植　清　志	火・2	理 A238	5	B	
43	芳香族化学	化学科	林　　直　人	木・1	理 A424	5	B	
44	基礎植物形態学	生物学科	唐　原　一　郎	月・2	理 C105	5	A	
45	基礎分類学	生物学科	岩　坪　美　兼	火・5	理 C105	10	B	
46	基礎生態学	生物学科	山　崎　裕　治	水・1	理 C105	5	A	
47	基礎細胞生物学	生物学科	菊　川　　茂	木・2	理 A337	5	A	
48	基礎発生学	生物学科	小　松　美英子	金・2	理 C105	5	B	
49	進化生態学	生物学科	山　崎　裕　治	火・1	理 C104	5	B	
50	生体調節学	生物学科	内　山　　実	月・2	理 C104	3	C	
51	分子生物学	生物学科	若　杉　達　也	木・2	理 A336	5	C	
52	遺伝子工学	生物学科	山　田　恭　司	水・2	理 C203	若干名	C	
53	地球科学概論Ⅰ	地球科学科	青　木　一　真 大　藤　　茂 酒　井　英　男	月・3	未　定	若干名	B	
54	地球科学概論Ⅰ	地球科学科	松　浦　知　徳 楠　本　成　寿 石　崎　泰　男	月・3	未　定	若干名	B	
55	基礎鉱物学	地球科学科	清　水　正　明	火・1	理 A336	若干名	B	
56	基礎地球システム学	地球科学科	青　木　一　真 楠　本　成　寿	水・2	理 A239	若干名	B-C	
57	雪氷学概論	地球科学科	島　田　　亙	金・2	理 A238	若干名	B	
58	層序学	地球科学科	柏　木　健　司	木・4	理 A336	若干名	B	
59	地震学	地球科学科	渡　邊　　了	月・4	理 A336	若干名	B	

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
60	岩石磁気学	地球科学科	酒　井　英　男	月・2	理 A239	若干名	C	
61	雪氷物理学	地球科学科	島　田　　亙	木・4	理 A239	若干名	C	
62	列島地質	地球科学科	大　藤　　茂	水・2	理 C206	若干名	C	
63	資源環境科学	地球科学科	清　水　正　明	火・2	理 A336	若干名	B-C	
64	海洋地質学	地球科学科	竹　内　　章	火・4	理 A337	若干名	B-C	
65	海洋物理学概論	地球科学科	松　浦　知　徳	月・1	理 A336	若干名	B	
66	海洋底物理学	地球科学科	楠　本　成　寿	木・3	理 A238	若干名	B-C	
67	気象学概論	地球科学科	安　永　数　明	火・3	理 A336	若干名	B-C	
68	生物圏環境科学概論	生物圏環境科学科	丸　茂　克　美 横　畑　泰　志	月・4	未　定	若干名	A	
69	環境基礎生物学Ｂ	生物圏環境科学科	田　中　大　祐	月・2	理 C203	若干名	B	
70	環境化学	生物圏環境科学科	丸　茂　克　美	水・2	理 A425	若干名	B	
71	水環境化学	生物圏環境科学科	波　多　宣　子 田　口　　茂	火・1	理 A424	若干名	B	
72	環境植物生理学	生物圏環境科学科	蒲　池　浩　之	火・2	理 A239	若干名	B	
73	環境微生物学	生物圏環境科学科	中　村　省　吾 田　中　大　祐	木・3	理 A424	若干名	C	
74	環境保全化学	生物圏環境科学科	倉　光　英　樹	水・2	理 C104	若干名	B	
75	地球化学	生物圏環境科学科	上　田　　晃 堀　川　恵　司 張　　勁 丸　茂　克　美	金・1	理 A424	若干名	B	

（注１）当該授業科目受講のためには、開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	電子物性工学２	電気電子システム工学科	小　野　行　徳	月・1	工 205	5	B	
2	半導体デバイス２	電気電子システム工学科	岡　田　裕　之	木・3	工 103	5	C	
3	半導体デバイス演習	電気電子システム工学科	岡　田　裕　之	木・4	工 103	5	B	
4	力学	電気電子システム工学科	喜久田　寿　郎	月・1	共通 D12	5	A	
5	通信方式	電気電子システム工学科	坂　上　岩　太	火・1	工 207	5	B	
6	電気電子設計	電気電子システム工学科	作　井　正　昭	火・2	工 107	3	B	
7	アナログ電子回路１	電気電子システム工学科	中　島　一　樹	火・1	工 205	3	B	
8	センサ工学	電気電子システム工学科	鈴　木　正　康	水・1	工 210	5	B	
9	化学	電気電子システム工学科	鈴　木　正　康	木・3	工 210	5	A	
10	電磁気学２	電気電子システム工学科	丹　保　豊　和	火・4	工 206	5	B	
11	電磁気学演習２	電気電子システム工学科	丹　保　豊　和	木・1	工 206	5	B	
12	電気エネルギー工学１	電気電子システム工学科	田　中　和　幸	月・4	工 105	5	B	
13	高電圧プラズマ工学	電気電子システム工学科	伊　藤　弘　昭	水・1	工 107	5	B	
14	電磁気学２	電気電子システム工学科	山　崎　登志成	火・4	工 207	5	B	
15	電磁気学演習２	電気電子システム工学科	山　崎　登志成	木・1	工 207	5	B	
16	電気機器工学２	電気電子システム工学科	作　井　正　昭	木・2	工 108	5	B	
17	電気回路基礎	電気電子システム工学科	小　川　晃　一	木・2	工 205	5	A	
18	電磁波工学１	電気電子システム工学科	藤　井　雅　文	火・2	工 108	5	B	
19	電気数学２	電気電子システム工学科	藤　井　雅　文	火・5	工 205	5	B	
20	線形代数	電気電子システム工学科	山　下　正　人	火・4	共通 D22	5	A	
21	微分積分２	電気電子システム工学科	山　下　正　人	水・2	共通 D22	5	A	
22	微分積分１	電気電子システム工学科	山　下　正　人	木・4	共通 D22	5	A	
23	電気回路演習２	電気電子システム工学科	荏　戸　立　夫	水・1	工 103	5	B	
24	システム制御工学１	電気電子システム工学科	チャピ　ゲンツィ	火・3	工 108	3	B	
25	画像処理工学	知能情報工学科	堀　田　裕　弘	月・2	工 210	5	B	
26	線形代数Ⅰ	知能情報工学科	堀　田　裕　弘	水・2	工 105	5	B	
27	微分積分Ⅰ	知能情報工学科	角　畠　　浩	金・1	工 210	10	A	
28	確率統計論	知能情報工学科	田　島　正　登	月・1	工 206	若干名	A	
29	符号理論	知能情報工学科	田　島　正　登	金・3	工 108	5	B	
30	計算機アーキテクチャ	知能情報工学科	唐　　政	月・4	工 205	5	B	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
31	知能生体情報工学	知能情報工学科	中　嶋　芳　雄	金・4	工108	5	B	
32	音情報学	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	金・2	工108	10	B	
33	プログラミングⅠ	知能情報工学科	高　松　　衛	金・4	共通B21	5	A	
34	情報理論	知能情報工学科	稲　積　泰　宏	金・3	工205	5	B	
35	人工知能	知能情報工学科	菊　島　浩　二	火・4	工210	5	B	
36	応用数学Ⅱ	知能情報工学科	春　木　孝　之	木・3	工108	3	B	
37	ロボット工学	知能情報工学科	春　木　孝　之	月・4	工210	3	B	
38	英語コミュニケーション	知能情報工学科	キタノ　アスカ	水・3	工202	5	B	
39	機械材料工学	機械知能システム工学科	會　田　哲　夫	木・1	工103	5	B	
40	機械力学	機械知能システム工学科	木　村　弘　之 佐々木　基　文	木・4	工206	5	B	
41	機構学	機械知能システム工学科	佐々木　基　文 関　本　昌　紘	金・4	工206	5	B	
42	塑性工学	機械知能システム工学科	髙　辻　則　夫	木・2	工103	5	B	
43	応用情報工学	機械知能システム工学科	田　代　発　造	火・4	工103	5	B	
44	伝熱工学	機械知能システム工学科	平　澤　良　男	月・5	工205	5	C	
45	技術史	機械知能システム工学科	山　田　　茂 笹　木　　亮	水・1	工207	5	A	
46	応用数学第２	機械知能システム工学科	瀬　田　　剛	金・4	工207	5	B	
47	切削加工学	機械知能システム工学科	山　田　　茂	水・2	工205	5	B	
48	生産加工学	機械知能システム工学科	山　田　　茂	木・2	工210	5	A	
49	情報数理	機械知能システム工学科	ﾀﾁｱﾅ ﾆｺﾗｴﾌﾞﾅ ｿﾛﾂｷﾋﾅ	木・3	工205	5	B	
50	応用熱力学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆	金・2	工103	5	B	
51	計測工学	機械知能システム工学科	三　原　　毅 田　代　発　造	月・2	工108	5	B	
52	精密測定学	機械知能システム工学科	三　原　　毅	月・4	工108	5	B	
53	力学第１	機械知能システム工学科	三　原　　毅	火・4	工205	5	B	
54	ソフトウェア工学演習	機械知能システム工学科	松　島　紀　佐 ﾀﾁｱﾅ ﾆｺﾗｴﾌﾞﾅ ｿﾛﾂｷﾋﾅ	金・1	工103 センター 第２端末室	2	B	パソコン使用
55	流体機械	機械知能システム工学科	渡　邊　大　輔	火・1	工105	5	C	
56	要素設計学第１	機械知能システム工学科	笠　場　孝　一	水・1	工106	5	B	
57	生化学Ⅰ	生命工学科	黒　澤　信　幸	月・2	工207	若干名	B	
58	細胞代謝学Ⅰ	生命工学科	佐　山　三千雄	火・1	工208	10	B	
59	基礎化学	生命工学科	星　野　一　宏	月・3	工210	5	A	
60	バイオインダストリー	生命工学科	星　野　一　宏	金・3	工204	5	A	

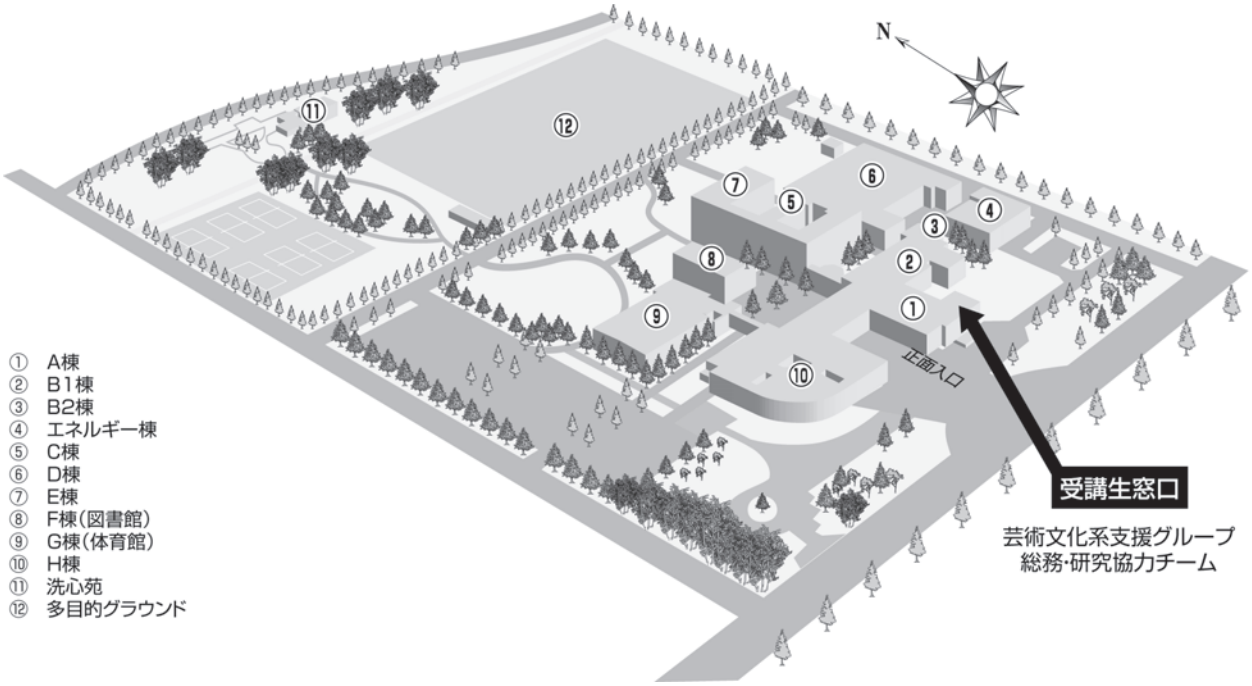
学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
61	細胞工学	生命工学科	篠 原 寛 明	金・1	工 208	5	B	
62	無機化学Ⅱ	生命工学科	篠 原 寛 明	火・1	工 204	若干名	B	
63	電磁気学	生命工学科	川 原 茂 敬	水・1	工 205	5	A	
64	電子工学概論	生命工学科	川 原 茂 敬	金・2	工 105	5	B	
65	生物化学工学Ⅰ	生命工学科	森　　英 利	火・4	工 107	5	B	
66	物理化学Ⅱ	生命工学科	森　　英 利	水・2	工 206	5	A	
67	機械工学概論	生命工学科	森　　英 利	木・2	工 206	5	B	
68	生体医工学	生命工学科	中 村 真 人	月・4	工 102	若干名	B	
69	有機化学Ⅱ	生命工学科	阿 部　　仁	木・1	工 210	5	B	
70	無機分子工学	環境応用化学科	會 澤 宣 一	月・5	工 207	5	B	
71	物理化学Ⅱ	環境応用化学科	伊 藤 研 策	月・2	工 201	10	B	
72	基礎生命分子化学	環境応用化学科	小 野　　慎	水・2	工 108	若干名	A	
73	生化学Ⅰ	環境応用化学科	北 野 博 巳	火・4	工 105	5	A	
74	反応有機化学	環境応用化学科	堀 野 良 和	月・1	工 202	3	B	
75	環境保全化学	環境応用化学科	加賀谷 重 浩	水・2	工 102	5	B	
76	分子構造解析	環境応用化学科	遠 田 浩 司	火・2	工 206	5	B	
77	分離分析化学	環境応用化学科	遠 田 浩 司	金・3	工 207	5	B	
78	環境応用化学概論	環境応用化学科	全 教 員 伊 藤 研 策	月・3	工 103	5	A	
79	有機構造化学	環境応用化学科	阿 部　　仁	火・1	工 210	5	B	
80	有機化学	環境応用化学科	阿 部　　仁	金・3	工 210	5	A	
81	応用数学	環境応用化学科	宮 崎　　章	火・5	工 102	5	B	
82	工学特論（無機化学演習）	環境応用化学科	宮 崎　　章	火・1	工 107	5	B	
83	有機反応分子工学	環境応用化学科	吉 村 敏 章	木・2	工 202	5	B	
84	工学特論（量子論演習）	環境応用化学科	吉 村 敏 章	金・2	工 202	5	B	
85	固体物性工学Ⅰ	材料機能工学科	並 木 孝 洋	月・3	工 206	5	C	
86	無機化学	材料機能工学科	砂 田　　聡	水・2	工 203	10	A	
87	物理化学Ⅱ	材料機能工学科	高 瀬　　均	金・2	工 207	5	B	
88	材料工学序論Ⅰ	材料機能工学科	松 田 健 二	火・1	工 206	若干名	C	
89	応用数学	材料機能工学科	吉 田 正 道	木・3	工 206	5	B	
90	材料機能工学	材料機能工学科	佐 伯　　淳	水・1	工 202	3	B	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス


N
⑪
⑫
⑦
⑤
⑥
④
③
⑧
②
⑨
①
⑩
正面入口
受講生窓口
芸術文化系支援グループ
総務･研究協力チーム
① A棟
② B1棟
③ B2棟
④ エネルギー棟
⑤ C棟
⑥ D棟
⑦ E棟
⑧ F棟(図書館)
⑨ G棟(体育館)
⑩ H棟
⑪ 洗心苑
⑫ 多目的グラウンド

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P28 ～ P29 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　**開講期間は、平成25年４月８日（月）～ ７月 26 日（金）（７月 25 日（木）を除く）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 25 年度前学期授業日程」でご確認ください。

なお、授業時間は次のとおりです。

時　限	1	2	3	4	5
時　間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書等）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。ただし、授業を所定回数受講された方には、修了証書を発行します。詳細は受講生窓口にお問い合わせください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項に添付してある「受講希望調書」を**３月15日（金）から４月1日（月）まで**に下記高岡キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

高岡キャンパス受講生窓口は、次のとおりです。

富山大学芸術文化系支援グループ総務・研究協力チーム
〒933-8588　富山県高岡市二上町180
TEL：0766-25-9138　FAX：0766-25-9212
通常は月曜日から金曜日の８：30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「試聴証」をお渡しします。
この試聴証は、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようにご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。

試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。
なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。
また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。**
高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等の写し

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。

受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円

（消費税込みです。**授業科目によっては受講料が 9,300 円以外の科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用願います。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は芸術文化系学務グループ掲示板（A棟１階　学務グループ入り口前）で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、本学ホームページの「Web 掲示情報」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/information/）に、教室変更、休講、補講などについての情報が掲載されています。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）

その他、携帯電話からも授業の掲示情報を確認できるようになりました。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　受講生は、図書館の利用ができますので、高岡キャンパス受講生窓口まで申し出てください。

（損害賠償）

6　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

7　科目によっては保険に必ず加入していただく科目がありますのでご注意願います。
加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

8　キャンパスには、駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

学部名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	情報処理基礎	藤田 徹也	月・2	C-223	若干名	B	4/8,4/15	パソコン使用
2	国際観光論	渡邉 康洋	月・2	C-437	若干名	B	4/8,4/15	
3	観光英語	渡邉 康洋	月・3	C-437	若干名	B	4/8,4/15	
4	ネット社会とデザイン	武山 良三	月・3	B-116	若干名	C	4/8,4/15	イラストレータ等 CG での作品制作を行います。
5	暮らしとインテリア	丸谷 芳正	月・3	B -117	若干名	B	4/8,4/15	
6	材料力学	堀江 秀夫	月・5	B-210	若干名	B	4/8,4/15	
7	地域と文化	島添 貴美子	火・1	B-210	若干名	B	4/9,4/16	
8	ものづくりのための描写演習	三船 温尚	火・1	B-133 他	若干名	B	4/9,4/16	学生受講数を勘案して受け入れ。
9	CAD デザイン演習	林 暁 小川 太郎	火・1	C-223	若干名	B	4/9,4/16	パソコン使用
10	伝統文化論	島添 貴美子	火・2	C-437	若干名	B	4/9,4/16	「地域と文化」を受講していることが望ましい。
11	造形のための数学	辻合 秀一	火・3	H-281	若干名	B	4/9,4/16	
12	造形材料（有機材料１）	村田 聡	火・3	E-456	数名程度	B	4/9,4/16	「化学物質の世界」を受講済みであることが望ましい。
13	人間工学概論	河原 雅典	火・4	B -212	5	B	4/9,4/16	高校の数学，物理を履修していることが望ましい。
14	異文化理解文献研究（英語）	小林 和子	火・4	H-282	若干名	B	4/9,4/16	
15	異文化理解文献研究（中国語）	山田 眞一	火・4	H-281	若干名	B	4/9,4/16	ピンインが正しく読め，辞書をひくことができること。
16	情報処理基礎	小松 裕子	水・1	C-223	若干名	B	4/10,4/17	パソコン使用
17	化学物質の世界	村田 聡	水・2	E-456	数名程度	B	4/10,4/17	高校で化学Ⅰ、Ⅱの単位を修得していることが望ましい。
18	パッケージデザイン論	前田 一樹	水・2	B-212	10	B	4/10,4/17	
19	造形金属材料基礎	長柄 毅一	木・1	E-456	若干名	A	4/11,4/18	
20	情報処理基礎	米川 覚	木・3	C-223	若干名	B	4/11,4/18	パソコン使用
21	まちづくり	武山 良三	木・3	B-213	若干名	B	4/11,4/18	
22	造形発想の手法	小松 研治	金・1	E-150	2	B	4/12,4/19	
23	木質建築材料	堀江 秀夫	金・3	B-116	10 名程度	B	4/12,4/19	木質材料入門を受講していることが好ましい。
24	ジュエリー制作３	清水 克朗	月・４～５ 木・１～２	D-133 他	若干名	B	6/3,6/6	・受講料：13,300 円 ・開講期間：6/3 ～ 7/22 ・実習服・材料費が必要です。 ・受講者数を勘案して受け入れ。
25	木工具実習	小松 研治	火・４～５ 木・４～５	D-149	若干名	B	5/30,6/4	・受講料：13,300 円 ・開講期間：5/30 ～ 7/23
26	工芸制作入門	清水 克朗 渡邉 雅志	金・４～５	D-133	若干名	B	4/12,4/19	・開講期間：4/12 ～ 6/7 ・材料費各自負担

学部等名：芸術文化学部

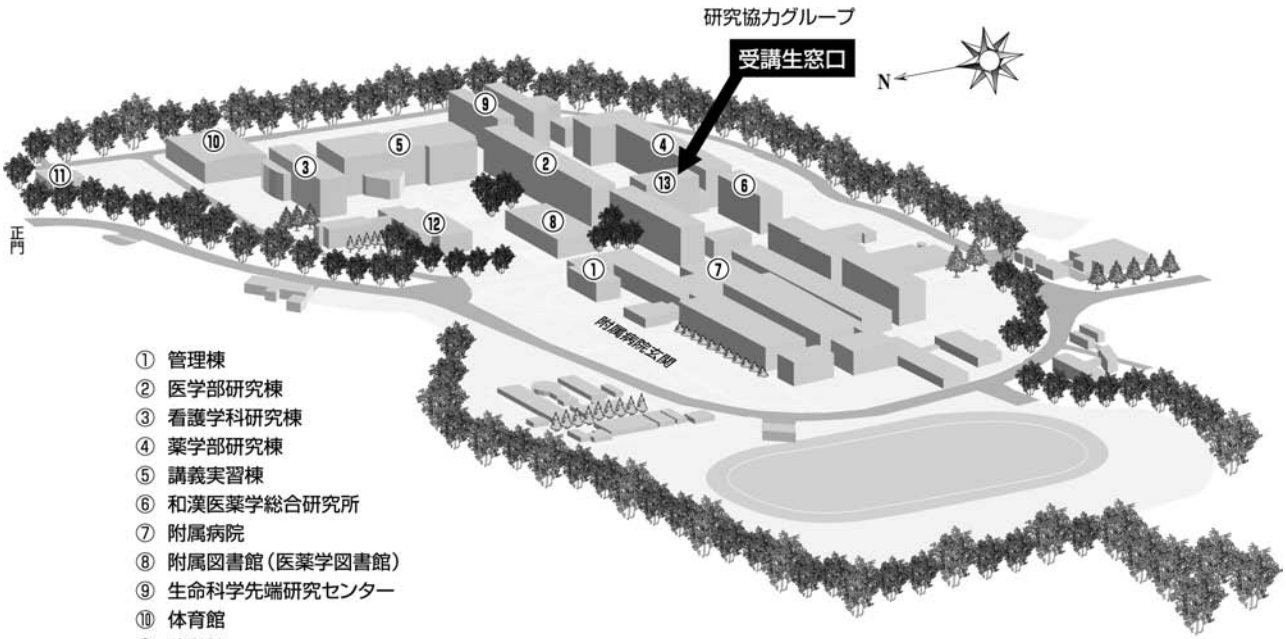
番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
27	金属造形（鍛金）Ⅱ	中　村　滝　雄	金・４～５	D-142	若干名	B	4/12,4/19	・受講料：13,300 円 ・「金属造形（鍛金）Ⅰ」を受講済みであることが望ましい。 ・実習服・材料費が必要です。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途手続きが必要となりますので、受講生窓口（芸術文化系研究協力チーム）までお問い合わせください。

※教室の収容人員の都合及びパソコン等機器の不足により受講できない場合があります。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

杉谷キャンパス


研究協力グループ
受講生窓口
N
正門
附属病院玄関
① 管理棟
② 医学部研究棟
③ 看護学科研究棟
④ 薬学部研究棟
⑤ 講義実習棟
⑥ 和漢医薬学総合研究所
⑦ 附属病院
⑧ 附属図書館（医薬学図書館）
⑨ 生命科学先端研究センター
⑩ 体育館
⑪ 武道館
⑫ 福利・厚生棟
⑬ 共同利用研究棟

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P36 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　**開講期間は、平成 25 年４月８日（月）～ 7月 26 日（金）（7月 25 日（木）を除く）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の平成 25 年度前学期授業日程でご確認ください。

なお、授業時間は、次のとおりです。

時　限	1	2	3	4	5	夜１限（６限）	夜２限（７限）
時　間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書等）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。ただし、授業を所定回数受講された方には、修了証書を発行します。詳細は受講生窓口にお問い合わせください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項に添付してある「受講希望調書」を**３月１５日（金）から４月１日（月）まで**に杉谷キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、杉谷キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

杉谷キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届

・受講料

・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

杉谷キャンパス受講生窓口は、次のとおりです。

富山大学研究協力グループ
〒930-0194　富山市杉谷 2630
TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、杉谷キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。

受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円

（消費税込みです。**授業科目によっては受講料が 9,300 円以外の科目があります。**

その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。

また、複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。既に受講証の交付を受けている場合には、手続きの際に受講証をご提示ください。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、本学ホームページの「Web 掲示情報」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/information/）に、教室変更、休講、補講などについての情報が掲載されています。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）

その他、携帯電話からも授業の掲示情報を確認できるようになりました。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　受講生は、図書館の利用ができます。利用の際には、受講証をご提示ください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　科目によっては保険に必ず加入していただく科目がありますので、ご注意願います。
加入手続きは、杉谷キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。なお杉谷キャンパスの駐車場は有料となっております。

自家用車でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）

なお、「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

医薬系学務グループ　教務チーム　　TEL ０７６－４３４－７１２５

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（杉谷）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	解析学 A	笹　野　一　洋	火・3	303	若干名	A	4/10	高校の数学Ⅲを理解していること。
2	解析学 B	笹　野　一　洋	月・5 金・2	203	若干名	A	4/12	高校の数学Ⅲを理解していること。13,300 円

○専門科目

学部等名：医学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	老年看護学総論	竹　内　登美子	月・3	22	若干名	B	4/8	
2	救急・災害医学	奥　寺　　敬	木・3、4 ※備考参照	臨床講義室 1	5	C	6/6 6/13	※ 6/6（木）～ 7/4（木） 7,300 円

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

平成　　年　　月　　日

富山大学公開授業　　受講希望調書

住　　所	〒		
フリガナ 氏　　名		性　別	男・女
電　　話 （携帯電話）			
年　　齢			
生涯学習メールマガジンの配信を希望される方は、e-mail アドレスをご記入ください。 e-mail			

富山大学公開授業として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学 部 名 等		
授 業 科 目	番　号 （　　）	
担 当 教 員		
授業曜日・時限	曜日　　限	

※　本調書は、1 授業科目ごとに 1 枚とし、**3月15日（金）から4月1日（月）まで**に各キャンパス受講生窓口に提出してください。郵送あるいは FAX も受付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写して使用願います。
　なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※　「オープン･クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

※　ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

（切り取り線）

オープン・クラス受講生の方へ

携帯電話で授業の掲示情報が確認できます。

緊急情報、授業の休講・補講といった情報を携帯電話で確認することができます。

掲示情報（携帯サイト）の URL は、下記のとおりです。
http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/

QR コードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左の QR コードからアクセスできます。

- 授業情報は、ヘルン・システム（学生向）の掲示情報と連動し、同じ内容のものを確認できます。
- 掲示の内容は 10 分毎に最新の掲示情報に更新されます。
- 台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。

＜留意事項＞
本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内掲示板をご確認願います。
なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

五福キャンパス

富山市五福3190

（人文学部、人間発達科学部、経済学部、理学部、工学部）



高岡キャンパス

高岡市二上町180

（芸術文化学部）



杉谷キャンパス

富山市杉谷2630

（医学部、薬学部）



富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門

〒930-8555　富山市五福3190番地　TEL076-445-6956　FAX076-445-6033
ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/
Eメール：lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。